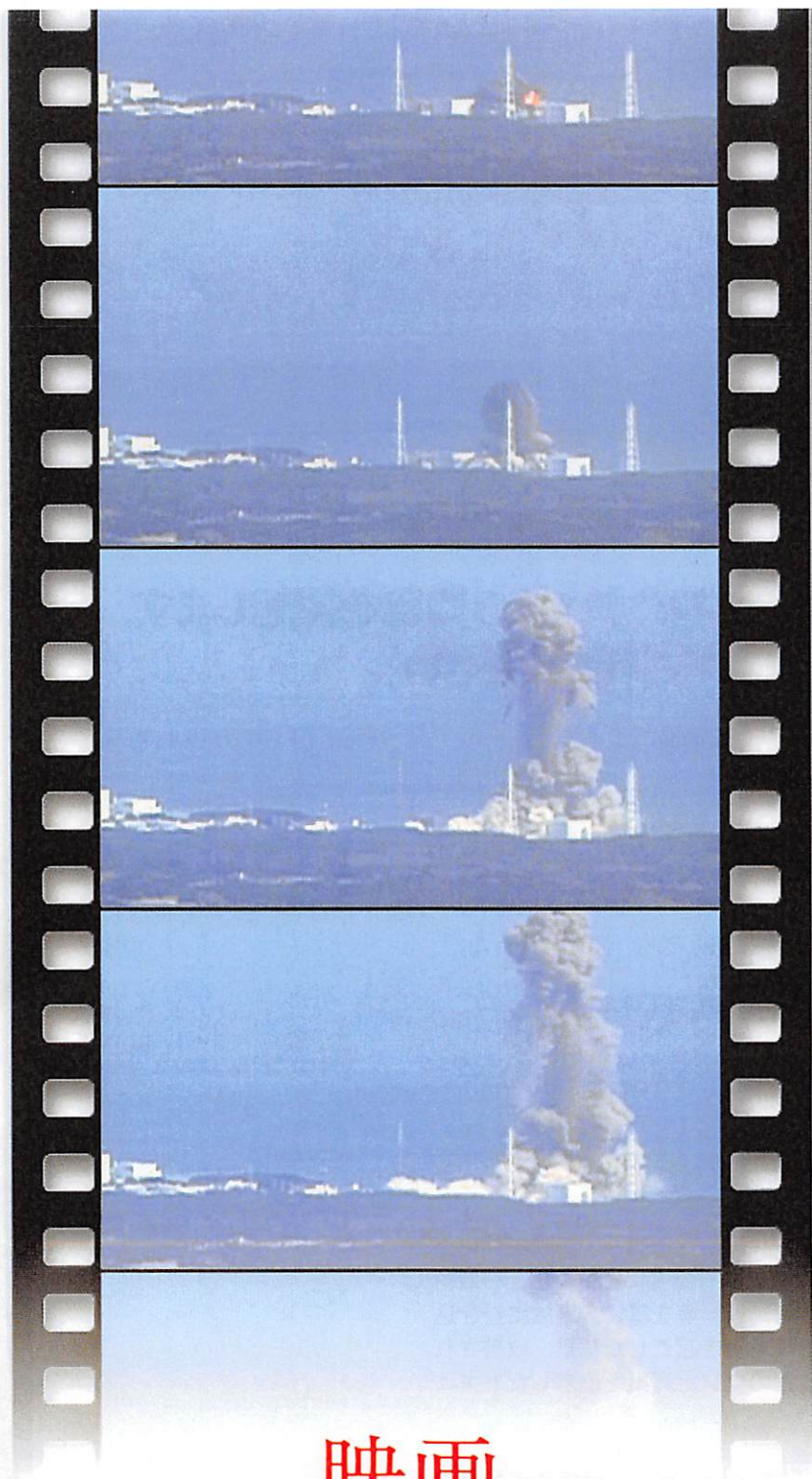


なぜ、弁護士がドキュメンタリー映画を
作らねばならなかったのか？



映画
「日本と原発」

私たちは原発で幸せですか？

弁護士 河合 弘之 初監督作品

脱原発裁判の先頭に立つ弁護士が裁判闘争の限界を打破するために
あえて世に問う日本の原発のすべて！

映画 「日本と原発」

製作・監督:河合弘之 構成・監修:海渡雄一 制作協力:木村結 音楽:新垣隆
脚本・編集・監督補:拝身風太郎 制作:Kプロジェクト

■お話をうかがった方々:

青木秀樹 アナトリー・チュマク 飯田哲也 エフゲーニャ・ステパノワ
大島堅一 川口登 小出裕章 コンスタンティン・ロガノフスキー
古賀茂明 鈴木大介 高野仁久 田中三彦 馬場有(敬称略)

私たちは原発で幸せですか?

※この映画は、原発についての報道・広報に対する批判的検討をも目的としています。

© Kプロジェクト

これ1本で原発を取り巻くすべての問題を提起します。 映画鑑賞後、ご自身でご判断ください。

有名企業を取り巻く多くの裁判で勝ち続け
辣腕弁護士と呼ばれた河合弘之。

しかし、河合の人生後半戦の一大事業と位置付けた原発訴訟は、
負け続けた。

何年続けても、どんなに方法論を工夫しても、勝てなかった。
逆襲弁護士と呼ばれるタフな河合だが、
負け続ける原発訴訟にその闘志は弱まっていた。

そして、2011年3月11日。
東京電力福島第一原子力発電所で
原子力発電史上最悪の事故が起きた。
河合は決心した。「絶対にあきらめない」。

これは、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘
う木村結の3人が、多くの関係者、有識者にインタビュー取材
を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に、事故に巻き込
まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善され
ない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュ
メンタリーである。

「裁判はたったひとりでも正義をかけて闘える民主主義社会の
安全弁みたいなものだ。だから、僕はひとりでも闘う。でも、
それだけじゃ、みんなに伝わらない。ひとりでも多くの人に真
実を伝えるには、やはり、映画しかない」(河合弘之)。



◆ Kプロ主催有料試写会のご案内 ◆ 料金 ◆ 一般: 1,500円/シニア・大学生・障がい者: 1,000円/高校生以下: 500円

■ 1月

『シネマート六本木』
3階シネマートホール

1/16(金) 13:00~ 16:00~
1/17(土) 15:30~ 19:00~
1/18(日) 15:30~ 19:00~
1/19(月) 15:30~ 19:00~
1/20(火) 15:30~ 19:00~
1/22(木) 19:00~
1/23(金) 19:00~
1/24(土) 19:00~
1/25(日) 19:00~
1/26(月) 19:00~
1/27(火) 19:00~
1/28(水) 19:00~
1/30(金) 13:00~



六本木駅より徒歩約2分
東京都港区六本木3-8-15

■ 2月

『ユーロライブ』
KINOHAUS 2階

2/4(水) 16:15~ 19:00~
2/5(木) 16:15~ 19:00~
2/6(金) 16:15~ 19:00~
2/7(土) 16:15~ 19:00~
2/8(日) 16:15~ 19:00~



渋谷駅ハチ公口より徒歩約10分
東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2階